



人ごみを避けながらも、天気の良い日に、散歩に出かけたり、開放された場所での運動は外出自粛の対象になっていないので積極的に行ってみてはどうでしょうか。

外に出て挨拶程度で言葉を交わさなくても、顔見知りになったりちょっとした気分転換になるのではと思います。改めて自宅周辺を見渡していつもより少し足をのばしてみませんか？

今回は外出のキッカケになる社会資源情報を紹介したいと思います。



① 【旧馬場農場のサイロ】

ひばりヶ丘団地には旧馬場農場のサイロが残っています。1927年に創設された農場で使用されていたもので、石造りのサイロとして当時最大規模を誇っていたものです。



② 【信濃神社】

信濃神社は1897年に建立した厚別でも最も古い神社になります。この地域には信濃（長野県）出身の人が多かったことか「信濃」と付けられています。



③ 【おりひめ像】

平成元年の11月6日に白石区から厚別区を分区したことを記念して、厚別川の兩岸にはそれぞれ像が建立されました。厚別区側にはおりひめ像が設置されています。



④【北海道博物館】

北海道博物館は今は閉鎖中ですが、建物入口前に立っているオブジェの前で手をたたくと、鶴の羽ばたき音がするという物です。百年記念塔から右の道を進むと森林を通過して博物館にたどり着きますよ。



⑤【旧出納邸・恵庭荘・雪印バター誕生の記念館】

園内には時期になるとバラが咲き誇る見本園もあり、歩くだけでも癒される空間になっています。敷地内には歴史的な建物などもあるスポットになっています。

⑥【プレーリードッグの地蔵】

道路沿いの斜面が整備された平成6年に「厚別土木センター」により設置されたというプレーリードッグの像です。現在は像の間に犬の置物も仲間入りしています。



⑦【陽だまりロード】

陽だまりロードは白石から北広島まで結ぶサイクリングロードです。旧千歳線の線路があった場所がそのまま使用されています。



厚別区内には大小様々な公園もあります。もみじ台にある熊野沢公園には野生のリスを見る事ができたり、青葉中央公園には水芭蕉の群生地があります。また、厚別区には大きな川もあり、河川敷には遊歩道が整備されていたり、住宅街の中にも色々な並木道がある等、密にならずに散歩ができる場所が多く点在しています。コロナの状況が落ち着いた際には地域の方の憩いの場となりそうな情報を発信していきたいと思います。



○地域資源の把握

地域にある様々な情報（サロンや地域での活動、ボランティアグループ等）を地域の宝物を把握・発掘し、共有します。



○困りごとの把握・共有

地域住民の困りごとについて、アンケートや聞き取り調査などで把握・分析して住民のみなさんや関係機関と一緒に解決方法を考えます。



○話し合いの場づくり

地域の皆さんと5年・10年先の将来の地域をみすえて、話し合う場を設けます。

○担い手の育成・発掘

ボランティア講座の開催を通じて、元気な高齢者の社会参加を応援します。

【札幌市生活支援整備体制事業】



【連絡・お問い合わせ先】

〒004-0052

札幌市厚別区厚別中央2条5丁目6-3 新さっぽろデュオ2 4階 介護の相談窓口内

TEL: 011-807-5500

FAX: 011-890-2673

厚別区生活支援推進員 仲平 栄治・結城 寿美江

掲載内容において営業時間および内容等が変更になる場合があります。ご利用の際はお問い合わせなど確認の上お出かけ下さい。

厚別区生活支援ポータル

